

まちづくりネットワーク

まちづくりの実践に向けて

今年度このNPO交流センター通信「まちづくりネットワーク」では、新年度から始まる新磐田市のまちづくり・市民活動の先行きを見据えて第十号（八月一日発行）では、「それぞれの町のまちづくりをもう一度振り返る」として、五市町村の首長へのアンケートを実施し、これまで各市町村で行われてきたまちづくりの方針を確認しました。十一号（十二月一日号）では、まちづくりを実践する市民が「我々ができることを考える」をテーマに意見交換をしました。

今号では、「実践に向けて」の活動を考えていきたいと思えます。市民活動をする側にとって、不足しているものとして「人・物・金」の三つがあるとされます。このうちの「物」については、活動の場や道具を指します。磐田市には、市民活動の場として公民館やNPO交流センターがあります。ここを拠点として会合を重ね、イベントなどの会場となります。

「金」については、ボランティアな活動としても最低限の活動経費を会費や寄付金・補助金といった形で賄うことも必要で

すし、より大きな活動をするには様々な事業などで収入を得、しっかりとした事務局を構成し活動を確実なものにしなければなりません。



コーヒーとえび芋コロケで交流会
(※2参照)

「人」については、活動の仲間づくりが、課題にあげられます。会員の拡大はもとより、イベントでの人的不足は切実なものがあります。ボランティア・まちづくり活動をしてみたい人々にとっては、せっかく行動を起こそうと思ってもどこでなにが行われているか情報が入ってこないジレンマがあります。せっかくいい事業があったとしても気がつけば終わってたり、思っていた内容と違って

いる場合も少なくないようです。今回は、ここに着目してみたいと思います。

「人材マッチングセミナー」開催

二月二十日(日)、県NPO推進室・磐田市企画調整課主催

(NPO法人リベラヒューマンサポート企画・磐田NPO活動推進協議会運営)で、「人材マッチングセミナー」が磐田駅前の学生カフェBIRTH・PLACE E(※1参照)で開催されました。これは、ボランティアなどをしてい人と活動の手助けを求めているNPO団体の双方が参加し、第一部ではスキルアップを図る講座、第二部ではお互いを知り合うお見合い交流会という形で行われたものです。

「したい人」としては、主に磐田市まちづくりサポーター(※3参照・以下まちサポ)の方々が参加し、ボランティア推進連絡協議会・見付宿を考える会・桶ヶ谷沼を考える会・ジュピロ磐田アシストクラブなどの「してほしい団体」の話を熱心に聞いていました。まちサポも新市となれば、広く人材募集をすることとなり、新しい仲間づ

くりが期待されます。しかし、登録はしているものの思うようになまちづくり活動の依頼は少なく、そのうちにモチベーションが下がってしまうことも少なくないようです。もつとできることがあるはずだというたのもしい意見もいただきました。



してほしい人



したい人



「まちサポ有志の話」

このセミナーに先立ち、まちサポ有志で「まちサポ活動の方向性」を話す機会がありました。自分の特技にフィットした活動を作り出すことの必要性もあるのではないかと、多少おせっかい気味の活動でも良いのではないかなど熱い思いが語られていました。行政主導からまちサポ主体の活動へ展開していくこと・事務局の設置、活動する人の範囲を広げるための行動・情報交換の場である「サロン」の設置など受身ではなく自主性・主体性を持って活動するなど提案がありました。

「これから まちづくりへ」

人材マッチングセミナーでも市民活動のネットワーク化の話が出されました。NPO活動推進協議会・ボランティア推進連絡協議会ともに情報関係の委員会がありますし、NPO活動推進協議会には、平日事務局員も常駐しています。ここを拠点として相互に結び合い“Face to Face”の情報交換ができる場を造っていく、そこにまちサポとも共同していければ良いのではないかと。そして、こういった活動をNPO・ボランティア・文化・環境・生涯学習・スポーツアシスト等を所管する縦割り行政の枠にとらわれない「市民活動」として一元化していくながら、少しずつ市民組織として形にしていくことが話し合われました。

条例の策定などに向けて、行政と市民がまちづくりについて共通に話し合う場を設けていくことが大切でしょう。そして、前述の市民活動の事務局に人が集まり語り合える場となれば、そこが情報発信基地となり自然に人から人へまちづくり活動が広がっていくのではないのでしょうか。

まちづくりを担うNPO団体が育つことによって、行政が行ってきた公共の事業に民間の新しいアイデアが加わってより使いやすく便利なものになり、経費も少なくてすむと思います。それを正当に評価し、さらに改善していくことが理想です。

セミナーの内容

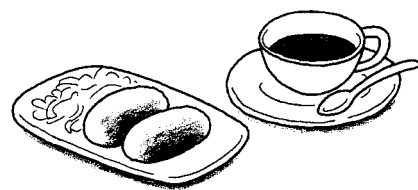
三島市のNPO法人リベラヒューマンサポート三好理事



静岡産業大学辻田素子講師

静岡産業大学の辻田素子講師により「学生参加のまちづくり」として今年度大学と磐田市の連携により進めてきた「まちづくり論」の講義の中で見付・中泉の中心市街地の活性化について調査報告と分析・提案がなされました。特

に磐田駅前の活性化はきびしいものがあり、今回会場となった学生カフェも運営の難しさが述べられました。セミナー前日の十九日に「天平のまち」で行われた最終報告会には、大坪学長と鈴木市長も参加し、これからも磐田のまちづくりには大学の参加協力・活用が明言されました。



- ※1 BIRTH・PLACE (バース・プレイス)
静岡産業大学のまちづくり論の中で調査班、イベント班と共に空き店舗班として実験店舗を開店
H16.12.7～H17.3.27(予定)
- ※2 えび芋コロッケ
豊岡村、竜洋町の特産品海老芋を使ったオリジナルメニュー
- ※3 まちづくりサポーター (磐田市登録)

まちづくりやボランティアの活動をしてみたい・自分のもつ知識や技能を地域に活かしたいという人の人材バンク



まちサポ有志

今後の市民活動は、行政に依存するのではなく我々市民ができることは、自らのできる範囲で実践し、行政に少し手伝ってもらおうという形になるでしょう。地域に根付いた活動であればまずそこを認め合い、その活動をより活発にしていくために市民活動推進



リベラヒューマンサポート三好理事長

まちづくりの現場から

グループ「フリッピング」活動中

昭和五十八年磐田市教育委員会の委託を受けて、発足したこの会は、朝日新聞、静岡新聞など六紙の情報を切り抜き、五十六頁の全国版冊子を作成し、市・関係機関・団体に配布してきました。

インターネットなどが広まってきたことから平成十二年十二月、十七年間二百余号の発行をもって活動を休止していました。

平成十四年秋、磐田NPO活動推進協議会が行ったNPOフォーラムで「まちづくり活動の新聞の切抜きをやってくれる方」の声掛けがあり、再び活動が始まりました。現在、七名のメンバーで月一回の作業をし、ファイル綴じはもちろんのこと掲示板にクリッピングしています。「地元の人が元気になる」をテーマに磐田市・県西部・県内の情

報を切り抜き、NPO・社会・環境・文化のジャンルに分けて整理し掲示しています。

記事収集のため新聞を隅々まで読むことが楽しみでもあり、作業をしながら趣味・政治・旅行のおしゃべりや食事を開いているグループです。NPO交流センターに立ち寄り際には、ぜひご覧いただき感想などお聞かせください。

中遠農業元気いっぱいフォーラム

豊田町のNPO法人「豊遊」(大橋徳久理事長)と中遠地域の農業者でつくる中遠農業元気いっぱいフォーラム実行委員会が同町富丘の県立農林高等学校で二月二十日(日)午前十時から開かれた。親子を対象にしたもので先着百組が参加しました。豊かで安全な食生活に関する意見交換と中遠地域農業の活性化を図ることを目的に、今年度は消費者を交えてのフォーラムとなりました。



開会式

管理栄養士の岩本房子さんを迎えて行われた「食と健康のサロン」で岩本さんは、「最近朝食を食べないで幼稚園



食と健康のサロン

や学校に通う子供が増えた。健康面ばかりでなく知能の発育にも悪影響がある。社会問題として発信していきたい」と述べ、食と健康と農産物をテーマに親子で情報のキャッチボールをしようと呼びかけました。出席した母親からは、「わかっていても実際に子供が食べないと強制もできない。自分も忙しいから食べなければ食卓は汚れないし、残飯も出ない」と切実な意見も出されました。それに対して「個性を大事にし、無理に食べさせることもよくない」との回答も出ました。



親子そろって実演コーナー

した。実際に農産物を食べてもらう試みも大成功でした。昼食には、中遠産の米を使ったごはん豚汁の提供もありました。どのコーナーも子供たちにおいしい食事とつくり方を伝えたいという主催者たちの熱気が伝わるイベントでした。

NPOの会員たちは会場作りや当日の受付、案内等を積極的に行っていました。ボランティア活動といっても日常はNPO法人の活動に接する機会が少なく、直接関係していなければ見過ごしてしまうことも多いかもしれませぬ。今回はそういう人たちの苦勞を惜しまない活躍ぶりに、取材してよかったという印象を強く持ちました。NPO法人の活動をこれからも積極的に報道していきたいと強く感じました。

所属団体の紹介 大池の会

代表 寺田 保男
事務局 磐田市二之宮一三六一
TEL (三三二) 三八七二
設立 平成十六年四月一日
構成 四名(男二名 女二名)
活動目的・内容

私たち「大池の会」は、磐田市に残された貴重な自然財産である大池を、周辺住民の長年の夢である「自然と調和した水を生かした公園」として整備するよう「大池を良くする会・大池を考える会・楨の会・大泉町自治会・大池研究会」といった団体が集まって設立いたしました。定期的に会合を開き、大池の堤防に花の種を蒔いたり、ゴミ拾いを行ったりして、この大池を守り育てていくこととしております。



みんなで草取り

会費等

この会は、まだできたばかりです。これから少しずつ東事を作って参ります。関心のある方はご連絡ください。

INFORMATION

情報募集!!

みなさんのまちの「まちづくりの情報」を掲載します。お気軽にご連絡下さい。
問合せ 磐田NPO交流センター
☎ 0538(36)1890 (FAX共)

気功による健康相談会

日時 毎月第2水曜日10:00~16:00
会場 磐田NPO交流センター1階
内容 体の不調や治りが悪い状態の方の健康相談に治療気功で応じます。無料 要予約
主催 いきいきライフ・いわた
問合せ ☎ 0538(32)5258 村田

しきじ土曜倶楽部児童募集

日時 毎週土曜日 8:30~11:45
場所 豊岡東小学校
対象 新磐田市在住の新1年生~新6年生
内容 英会話、パソコン授業を中心に読、運動、地域活動ほか 送迎各自
講師 静大教育学部学生及び外国人講師
費用 一人毎月2,000円程度
主催 NPO法人しきじ土曜倶楽部事務局
協力者同時募集
問合せ ☎ 0539(62)2563(土曜8:30~12:00)

平成17年度食育クッキング 幼児・小学生コース募集

日時 幼児コース…水曜日・木曜日
小学生コース…土曜日・日曜日
会場 NPO法人こどもの森
内容 食へのかわりからの健康教育の実践
主催 NPO法人こどもの森(磐田市城之崎)
問合せ ☎ 0538(36)1311 加来

第16回全国トンボ市民サミット 静岡県磐田市合併記念桶ヶ谷沼大会

日時 4月29日(金)10:00~
4月30日(土)9:00~
会場 桶ヶ谷沼・磐田グランドホテル
桶ヶ谷沼ビジターセンター
内容 29日午前:ベッコウトンボの定量調査 午後:天平のまちから桶ヶ谷沼までの小さな遠足3コース(A磐田市、B福田町・竜洋町、C豊岡村・豊田町) 交流会
30日午前:桶ヶ谷沼ビジターセンター見学及びベッコウトンボ保護活動見学 午後:大会記念式典・基調講演 両日共一部有料
主催・問合せ
NPO法人桶ヶ谷沼を考える会
磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンター内
とんぼハウス ☎ 0538(37)3888 國松

チャリティコンサート

日時 5月8日(日)14:00開場 14:30開演
会場 ワークピア磐田 多目的ホール
内容 シャンソンコンサート
チケット代 1人1,000円
主催 磐田ユネスコ協会
共催 磐田ロータリークラブ・
磐田トンボの里ロータリークラブ
問合せ 事務局(磐田市生涯学習課内)
☎ 0538(35)4325

ともしびコンサート&パネル展示会

日時 6月19日(日)12:00~16:00
会場 ワークピア磐田
内容 「生涯学習講座」の発表(磐田市の公民館と共催)①コンサート(13:30~15:00) 合唱・独唱・器楽・箏の合奏他 ②講師・受講生の作品展示 入場無料
主催 NPO法人健康文化クラブ
問合せ ☎ 0538(23)8186 山鳥

磐南合併おめでとうございます グラウンドゴルフ大会中日新聞社杯争奪戦

日時 4月18日(月)8:00受付
9:00~12:00
会場 磐田市今之浦市有地
内容 男女別 個人戦
参加者 磐田市内の健康な20才以上の男女
主催 磐田グラウンドゴルフ倶楽部
問合せ ☎ 0538(32)3693(FAX共)海老江

救急法実技講習会

日時 4月23日(土)24日(日)
8:30受付 9:00~11:30
会場 磐田消防庁舎3階
内容 心肺蘇生法・三角巾の使用
方法 搬送法など
主催 磐田市子ども会世話人連合会
問合せ 事務局(磐田市生涯学習課内)
☎ 0538(35)4325 田村

見付宿 たのしい文化展

日時 4月23日(土)10:00~17:00
4月24日(日)10:00~16:00
場所 磐田市見付本通り、寺院、見付公民館、公会堂など
内容 ①市内外の作家の作品展示・販売
②我が家のお宝③演奏・演技など
④骨とう市、物産販売など
主催 見付宿を考える会
問合せ ☎ 0538(32)5222 大橋

遠州大名行列・舞車

日時 5月28日(土)雨天予備日5月29日(日)
場所 新磐田市 天竜川池田、中泉ジュピロード、見付宿場通り 大名行列池田・中泉・見付間バス移動
オープニング 池田10:00
中泉・見付正午頃を予定
問合せ 磐田観光案内所 ☎ 0538(33)1222
見付公民館 ☎ 0538(32)0322

編集後記

研修で戸田に行ってきた。駿河湾で汲み上げた海水を一晚煮上げて、天然の塩やにがりができます。この活動そのものがまちづくり・まちおこしになっていて、元気な奥さん達が賑やかに活動していました。翌週は、蒲原で歴史の町並みゼミに見付の皆さんと参加しました。こちらも女性陣がいかに蒲原が好きだと楽しそうに活躍していました。設計士という本業を持ち、かたわらのNPOである私はうらやましく思いました。新磐田市への合併を控えて慌しい編集となりましたが、来年度も頑張りたいと思います。「村上」



戸田からの富士を臨む

●磐田NPO交流センター通信
第十二号
平成十七年三月十五日発行
●発行者/磐田市総務部地域振興課
〒四八八六五 磐田市国府台三十一
TEL(〇五三八)三七四八一
●編集/磐田NPO活動推進協議会
〒四八〇〇八 磐田市中央町二二四
TEL(〇五三八)三六一八九〇
E-mail:iwata-npo@n.a.tnc.ne.jp